

本冊子をよくお読みのうえ、各種説明書と共に大切に保管してください

ご使用前に、本冊子をお読みいただき、正しくお使いください。

ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGB について

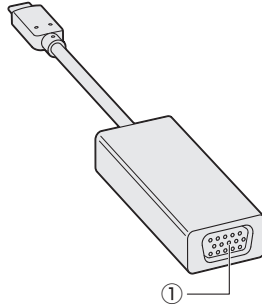
本冊子では、ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの各部名称や使いかたについて説明しています。

本冊子の記載内容については、予告なく変更する場合があります。

1

ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの各部の名称

ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの各部の名称は、次のとおりです。



① RGBコネクタ

外部ディスプレイを接続して、パソコンの映像を外部ディスプレイに表示します。

参照 「ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの取り扱いについて（7ページ）」

2 パソコンの画面を外部ディスプレイに映す

ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBのRGBコネクタと、外部ディスプレイをケーブルで接続すると、接続した表示装置の画面にパソコンの画面を表示させることができます。

お願い 外部ディスプレイ接続の操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて『パソコン本体に付属の説明書』

参照▶ 「ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの取り扱いについて（7ページ）」

参照▶ 「外部ディスプレイ接続の操作にあたって（7ページ）」

1 RGBコネクタに接続する／取りはずす

RGB端子がある外部ディスプレイを接続できます。



- 接続するケーブルは、市販のものを使用してください。
- 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
- 1,920 × 1,200ドットは、Reduced Blanking対応の外部ディスプレイでのみ表示可能です。
- 外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。

参照▶ 「表示を切り替える（5ページ）」

- RGB端子を備えたテレビへは、外部ディスプレイのようにRGBケーブルを使って表示することもできます。

参照▶ 本項目の説明と『テレビに付属の説明書』

接続する

あらかじめ、パソコン本体にポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBを接続しておいてください。

1 外部ディスプレイのケーブルのプラグを、外部ディスプレイのRGBコネクタに差し込む

2 外部ディスプレイの電源を入れる

3 外部ディスプレイのケーブルのもう一方のプラグを、ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBのRGBコネクタに差し込む

ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBのRGBコネクタには固定用のネジ穴はありませんが、プラグに固定用のネジが付いているタイプの外部ディスプレイケーブルも使用できます。

取りはずす

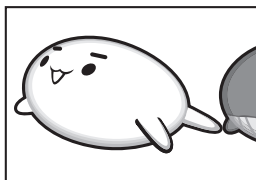
1 RGBコネクタから外部ディスプレイのケーブルのプラグを抜く

2 表示を切り替える

外部ディスプレイを接続した場合には、次の表示方法があります。
表示方法は、表示装置の切り替えを行うことで変更できます。

■ パソコン本体のディスプレイ、または外部ディスプレイだけに表示

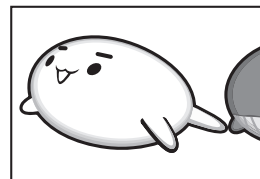
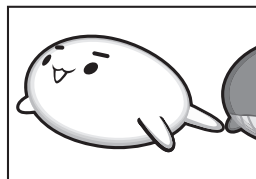
いずれかの表示装置にのみ、画面を表示します。



■ パソコン本体のディスプレイと外部ディスプレイの同時表示

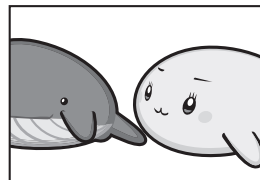
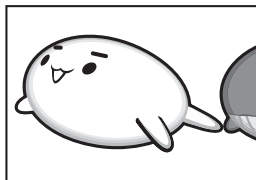
● 複製表示

2つの表示装置それぞれに同じ内容を表示します。



● 拡張表示

2つの表示装置を1つの画面として表示します。



外部ディスプレイに表示するには表示装置の設定を行ってください。



- 外部ディスプレイとパソコン本体のディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数/解像度で表示されます。
- 表示を切り替えたとき、システムによって自動的に解像度が変更される場合があります。
- 外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。
- 拡張表示は、パソコンで「タブレットモード」をオフに設定している場合のみ有効です。
- 映像を再生するアプリケーションを起動しているときは、表示装置を切り替えられません。
なお、ご使用の環境やアプリケーションにより複製表示、拡張表示での再生はサポートしていません。
- パソコンの省電力の設定により外部ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。スリープに移行した場合は、パソコンの電源スイッチを押してください。表示が復帰するまで10秒前後かかる場合がありますが、故障ではありません。

切り替え方法

パソコン本体のキーボードの **[FN]** キーを押したまま **[F5]** キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。



(表示例)

[FN] キーを押したまま **[F5]** キーを押し、目的の項目を選択したところで、**[FN]** キーから指をはなして **[ENTER]** キーを押すと、表示装置が切り替わります。

各項目について説明します。

項目	概要
PC画面のみ	パソコン本体のディスプレイだけに表示します。
複製	パソコン本体のディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示します。
拡張	パソコン本体のディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示します。
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイだけに表示します (パソコン本体のディスプレイには何も表示されません)。

3 ご使用にあたってのお願い

1 ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの取り扱いについて

- ほかのUSB Type-C™アダプターとの連結接続での使用はできません。
- パソコン本体のバッテリー充電量が著しく低下しているときに、ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBを接続しても正常に動作しない場合があります。
パソコン本体のバッテリーを30分程度充電してからポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBを接続し直してください。

2 外部ディスプレイ接続の操作にあたって

- すべての外部ディスプレイへの表示を保証するものではありません。
外部ディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。
- 必ず、映像を再生するアプリケーションを起動する前に、表示装置の切り替えを行ってください。アプリケーションによっては、起動中に表示装置を切り替えられない場合があります。
- 次のようなときには、表示装置を切り替えしないでください。
 - ・ データの読み出しや書き込みをしている間
 - ・ 通信を行っている間
- 複製表示（パソコン本体のディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示すること）にしているときに映像を再生させると、画像がコマ落ちをすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、複製表示にしないで1つの表示装置に表示するか、拡張表示に設定してください。
- 拡張表示（パソコン本体のディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示すること）で外部ディスプレイをメインディスプレイに設定した場合、スリープまたは休止状態のときに外部ディスプレイをはずさないでください。スリープまたは休止状態から復帰したときにサインイン画面が表示されずに、操作ができなくなることがあります。
- 外部ディスプレイの省電力機能が働くと、起動の際、BIOSセットアップなどが正しく表示されない場合があります。
この場合は、外部ディスプレイの電源を入れ直してから（省電力機能を解除してから）パソコンの電源を入れてください。
- 外部ディスプレイに表示したときに、画面の周りに黒い帯が表示され、画面が外部ディスプレイの中央に小さく表示されることがあります。
その場合は『外部ディスプレイに付属している説明書』を参照して、外部ディスプレイがサポートしている画面モードに設定してください。適切なサイズと適切なアスペクト比で表示されます。

4 ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGBの仕様

製品名	ポート拡張アダプタUSB Type-C™ RGB
外形寸法（突起部含まず）	約50.3（幅）× 28.8（奥行）× 14.3（高さ）mm
質量	約22g

Trademarks

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。